

第2期計画の6つの行動提言を推進する7つのテーマ別部会の取組と、計画推進に向けた支援の取組について概要をまとめました。

## ●テーマ別部会の取組（平成22～27年度）

### 【ボランティア部会】

- 区内の各イベントで、南区ボランティア連絡会と協働して、ボランティアセンターを開設し、情報提供や福祉体験講座を実施しました。
- 「男性ボランティア講座」を実施しました。
- 災害ボランティアセンターが災害時に機能するよう運営マニュアルの作成やシミュレーション等を実施しました。



福祉体験

### 【高齢者部会／セーフティネット（高齢・生活保護）部会】

- 部会内で検討し、「お役立ちポケット」を作成し、高齢者等定期訪問事業で配布しました。必要な情報の収集と保管、発信に活用されました。
- 認知症サポーター養成講座を小中学校でも開催し、「キッズサポーター」の養成を行いました。



キッズサポーター養成講座

### 【障害児者部会】

- 障害児者親の会「Kokua」による疑似体験や講演を様々な場所で行いました。
- 区内企業等と協力し、障害児者等に優しいお店づくりのための「おみせサンタ」を弘明寺商店街にて実施しました。
- 災害時の障害児者のために、区内の様々な地域防災拠点で避難スペースづくり体験を実施しました。



避難スペースづくり体験

### 【保健（健康づくり）部会】

- 団体同士が連携した取組を模索し食事・運動など様々な角度から健康づくり活動の幅を広げて活性化してきました。
- 区民に団体の活動をPRするため、平成25年度から南なんデーでスタンプラリーを実施しました。



健康づくり活動イベント

### 【子育て部会】

- 「南区子育てもっとネット」地区版を永田、中村・浦舟及び睦地域ケアプラザエリアに拡大しました。
- 子育て支援関係者のためのかわら版「にこで」を平成25年に創刊、定期発行するなど、全16地区の子育てサロンへの支援をしてきました。



中村・浦舟エリア会議

### 【セーフティネット（母子・児童）部会】

- 児童虐待防止のための南区実務者会議区全体会議やエリア別児童虐待防止会議を開催し、関係機関同士の連携の強化を図りました。
- 児童虐待防止のためのスキルアップ研修や講演会を開催しました。



児童虐待防止キャラクター「キャッピー」

## ●計画推進に向けた支援の取組

### ① 地域福祉保健計画推進チーム（人的支援）

南区役所、南区社会福祉協議会、地域ケアプラザ・地域包括支援センターの三者が連携し、「地域福祉保健計画推進チーム」として、毎年、16地区ごとに連絡会を開催し、課題の解決につながる具体的な支援策を検討するなど、地域と連携して各地区の支援を行いました。また、地区別計画策定プロジェクト会議に出席するなど、第3期計画策定につなげました。

### ② 各種助成金（資金的支援）

区役所では区民の新たな活動や拡大など「次の一歩」に対してチャレンジ支援事業助成金を交付しました。6年間で子育てサロン、高齢者サロン、障害児者支援活動など31事業に交付し、活動支援を行いました。

また、区社協では、16地区社協に対する「地区計画推進費」、地域で活動する172の福祉関係団体に対する「トモニ助成金」を交付し、支援しました。

### ③ 活動発表会の実施やイベント等での地域福祉保健計画の周知（情報共有の場）

- 地区社協活動発表会  
他の地区の取組について情報共有する機会として年に1回実施しました。  
先駆的な取組を進めている事例など、毎年2～3地区が発表を行い、情報共有を行いました。
- 南なんデー・地域活動発表会  
南なんデー（南区健康福祉まつり）および地域活動発表会（チャレンジ団体の発表会）で、地域福祉保健計画のPRを実施しました。

# 平成27年度第2期南区地域福祉保健計画概要版

## 第2期計画推進6年間の振り返り

平成28年3月

●横浜市南区役所

●（社福）横浜市南区社会福祉協議会

「第2期南区地域福祉保健計画」は、すべての区民の皆さんが日ごろの生活を通して共に支えあい、地域の福祉保健課題の解決を図っていく計画として、平成22年度からスタートしました。平成27年度までの6年間の計画として、6つの行動提言に基づく取組が様々な形で進んでおり、その成果を振り返り、概要をまとめました。



南区マスコットキャラクター  
みなっち



南区社会福祉協議会  
マスコットキャラクター  
トモニ

## ●6年間の推進の振り返り

### 行動提言1（担い手の育成）

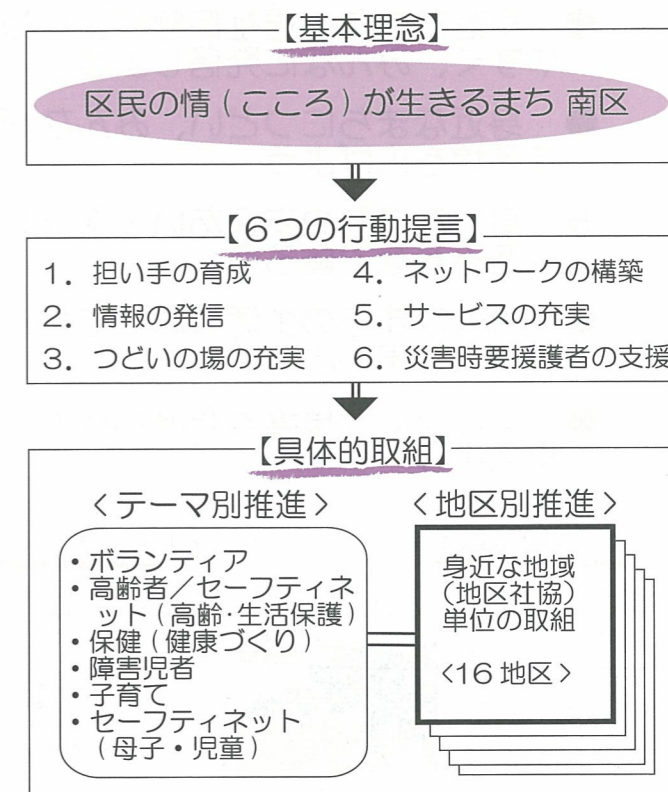
各地区で子育てや高齢者など、様々なサロンが立ち上がったことによって、新たな担い手の発掘や育成につながりました。特に、サロンや支えあいグループ、ちょこっとボランティア、見守り活動の取組などに、男性の担い手の活躍が少しずつ増えました。

### 行動提言2（情報の発信）

各地区で広報紙の発行が定期的に行われているほか、ホームページの開設などの取組が進みました。また、イベントでスタンプラリー等のPR活動を行い、関係団体の活動の周知をさらに進めました。

### 行動提言3（つどいの場の充実）

16地区すべてに子育てサロンが開設されたほか、異世代サロン、野菜づくり・朝市サロン、高齢者サロン等の開設についても各地区で進んだことにより、孤立しがちな世代のつながりがつくられました。



### 行動提言4（ネットワークの構築）

子育てもっとネット会議の地区版が開催され、地区が拡大されるとともに、エリア別虐待防止会議が全地区で開催されました。また、地域内の身近なネットワークの構築が進み、見守り活動が充実しました。

### 行動提言5（サービスの充実）

食事会や異世代交流イベント等の充実により、日ごろのゆるやかな見守りが進みました。また、ちょこっとボランティアの充実や支えあいグループの組織の充実など、住民同士の支えあいの仕組みづくりが図られました。

### 行動提言6（災害時要援護者の支援）

地域の防災訓練への障害者の参加を通じて、障害者や作業所などとのつながりが増え、災害時に支援が必要な人への対応が強化されました。また、災害ボランティアセンターが機能するよう、体制強化を図りました。

6つの行動提言

- 福祉・保健のまちを支える担い手をみんなで育てよう
- 身近なまちの福祉保健情報をわかりやすく、みんなに発信しよう
- 身近なまちにつどい、みんなが活動する場を広げよう
- 身近なまちの支えあい・ネットワークをみんなで創ろう
- 身近なまちの生活課題にこえるサービスを充実しよう
- 災害時に要援護者をみんなで支えよう

【2 太田地区】

- 総合型地域スポーツクラブと連携して子どもから大人まで参加できる地区社協主催の健康づくり事業を開催しました。
- 新米ママが育児に悩まないよう、子育てサロン「ブーブーくらぶ」を開設し、親子の居場所をつくりました。
- ホームページを開設し、地域に広く情報発信することにより、地区社協の活動内容を周知しました。



走り方教室

【3 太田東部地区】

- 高齢者食事会の充実に向けて「ドンドン食事連絡会」を立ち上げて担い手同士の情報交換の機会をつくりました。
- 子育てサロン「ぱんだ」を開設し、地区の内外から参加者を受け入れて親子が安心していられる場所をつくりました。
- 異世代交流サロン「かのえサロン」では参加者がハーモニカや写経を楽しみ、ボランティアとしても活躍しました。



ドンドン食事連絡会

【5 中村地区】

- 「セタフェスタ」を実施し、子どもから高齢者まで幅広い世代の方が一緒になってイベントを盛り上げ、交流を深めました。
- 地区社協だより「みどりと風」とホームページを連動させて、地域の様々な活動を情報発信しました。
- 地域の福祉関係施設や団体等との連絡会を通して、町内会と施設が繋がり、相互理解を深めました。



セタフェスタ

【6 時田地区】

- 地域防災拠点防災訓練にて、障害児者理解の講座や障害児者の避難スペース作りを実施しました。
- 地区社協ホームページを開設及び地区社協広報紙「ばわ～あっぴまいた」のリニューアルをし、適時情報を発信できるようにしました。
- 子育てサロン「あかいくつ」を開設し、子育て中の親と子が集える場とし、季節ごとのイベント等を実施しました。



障害児者避難スペース作り

【1 お三の宮地区】

- 広報紙「お三の宮地区社協だより」を創刊、内容の充実を図ると共に全戸配布を実現し、地域に地区社協の事業や活動を周知しました。
- 子育てサロン「ほっとmom」を開設し、地域で安心して楽しく子育てができるような様々なプログラムを通じて、親子の交流を図りました。
- 高齢者サロン「ひだまり」を開設し、地域の高齢者が集い、楽しく過ごす場としました。



地区社協だより編集会議

【4 寿東部地区】

- 子育てサロン「サン・サンディ」を開設し、地域の親子が楽しく集う場をつくりました。
- 地区社協広報紙「えん」を創刊し、地域に地区社協事業や防災への取組について周知しました。
- 南吉田小地域防災拠点訓練に地区社協として参加し、多言語による防災パンフレットの配布等を実施しました。



サン・サンディ

【7 堀ノ内睦町地区】

- 子育てサロン「のびのび」を開設し、参加者同士の交流や担い手である先輩ママに気軽に相談できる場をつくりました。
- 異世代交流事業「みんなでチャレンジ」では、幅広い年齢層が参加できるような内容を企画し、実施しました。
- 地区社協広報紙「ほがらか」の創刊により、堀ノ内睦町地区内の情報を多くの住民へ発信できるようになりました。



のびのび

【8 井土ヶ谷地区】

- 認知症サポーター養成講座は、ボランティアの中高生による寸劇を交え実施し、幅広い年代層に認知症についての理解を深めました。
- 子育てサロン「豆の木」、高齢者サロン「幸励」「いこい」を開設し、多くの参加者に喜ばれる企画を実施しました。
- ちょこっとボランティアの担い手として小中高生等が高齢者の見守りや地域イベント等に活躍しました。



認知症サポーター養成講座

【11 永田みなみ台地区】

- 「永田みなみ台地区見守り隊」を組織化し、講座や訪問・広報活動を行う等、高齢者を住民が見守る取組を進めました。
- 認知症サポーター養成講座を地域、保育園、小学校、中学校で毎年実施し、認知症の理解を幅広い世代に広めました。
- 子育てサロン「まんま」を開設し、外国人や老人会からも担い手を増やし、国籍や世代を超えた親子が交流できる場を実現しました。



見守り隊

【14 本大岡地区】

- 子育てサロン「さくらんぼ」、「大岡川ふれあいサロン」（高齢者）は好評で多くの方が参加されました。特に大岡川ふれあいサロンでは大岡小と交流を深めました。
- 区内の障害者施設の通所者等とスポーツや防災訓練等と共に、交流を深めました。
- 「本大岡地区社協だより」を発行し、地区社協活動の計画や報告等、日頃の取組の紹介を行いました。



大岡川ふれあいサロン

【9 南永田・山王台地区】

- 子育てサロン「つくしんぼ」を開設し、多くの現役ママを担い手に誘い、ママによる企画イベント等を多く実施しました。
- 認知症サポーター養成講座を自治会町内会単位で毎年実施し、「近所同士の見守り」の意識を地域全体に広めました。
- 「温かい街づくり研修会」の中で、各自治会町内会の取組を発表し、要援護者支援について考えるきっかけをつくりました。



つくしんぼ

【12 六ツ川地区】

- 高齢者食事サービスにて将来の担い手につながる近隣の中学校・高校の生徒らと一緒に活動し、交流を深めました。
- 地区社協・連自治会協働のサロン活動を通じた住民同士の交流、仲間づくりに取り組みました。
- 地区社協広報紙「むつかわ版」に地区社協事業や活動の様子、参加者の感想などを掲載し、活動を周知しました。



一人暮らし高齢者食事会

【10 北永田地区】

- 子育てサロン「ぼてと」、「第2ぼてと」をそれぞれ開設し、サロンの中で、子ども服のリサイクルを毎回実施しました。
- 玄米ダンベル体操教室「おもて会」を実施し、高齢者の健康づくりにつながる取組を進めました。
- 広報紙「ふれあいながた通信」を再発行し、担い手募集の記事を掲載することで、地域から担い手を発掘しました。



ぼてと

【13 六ツ川大池地区】

- 支え合いグループ「すみれ」を立ち上げ、活動を進めました。担い手の発掘と定着のための企画等も継続して取り組みました。
- 地区社協広報紙「大池地区だより」を発行し地区社協の活動として支え合い活動やサロン活動を報告しました。
- 子育てサロン「すくすくひよこ子」を開設し、参加する親子が安心できる場所となりました。歯の相談、身長・体重測定も好評でした。



すみれ

【15 大岡地区】

- 健康福祉まつりや音楽祭など趣向の異なる内容を企画し、幅広い世代が交流できる行事を実施しました。
- 連合町内会と地区社協、関係する各団体が集い、より良い地域づくりを目的に話し合う場「連絡協議会」を発足しました。
- 乳幼児とその家族を地域で見守る場として、0歳児対象の子育てサロン「ほっぺ中里」「ほっぺ大岡」を開設しました。



大岡地区健康福祉まつり

【16 別所地区】

- 在宅高齢者や障害者の生活支援を目的に有償ボランティアグループ「スマイルサポート別所」の活動をスタートさせました。
- 広報紙を回覧から全戸配布へ変更し、編集委員会で内容を協議して地域の関心ごとに沿った紙面づくりをしました。
- 「別所の歴史」を通して学校とのつながりを深め、小中学校の生徒など様々な世代との交流を図りました。



スマイルサポート別所